

清竜中学校での伝統芸能への取り組み。

中学生が芸能文化担う

懐山の
おくない

保存版 05号

天竜区「懐山のおくない」初参加



中学生も参加して奉納された「懐山のおくない」 浜松市天竜区懐山の泰蔵院で

浜松市天竜区懐山の山あいにある泰蔵院で3日、一年の安全や五穀豊穡を祈る国重要無形民俗文化財の田楽芸能「懐山のおくない」が奉納された。今年初めて地元の浜松市清竜中学校（天竜区二俣町）の生徒が、担い手として笛や獅子舞を担当した。（勝間田秀樹）

白の陣がさに羽織はかま姿の保存会（大石伝次会長）の住民と中学生が、阿弥陀如来をまつる本堂で笛や鈴を鳴らし、きねや剣を手に二十演目ほどの舞を夜まで奉納し続けた。懐山から清竜中に通う二年生の大石紘明君が声をかけた同級生男女九人が、昨

清竜中学校の生徒さんが
懐山おくないを舞う。

笛や獅子舞「出てよかった」達成感

夏から保存会の会員を学校に招き、笛などの稽古を積んできた。

大石君は「小学校の時に飛び入りで鬼の舞をやった以来、緊張したが、ずっと伝統を担っていきたい。来年は今の一年生が出るので、一年生への笛の指導も頑張りたい」と話した。

獅子舞に出た飯田暁斗君 同区二俣町も「後ろの人と息を合わせる獅子舞は難しかったが、伝統を引き継いだという気がした。出てよかった」と達成感を見せた。

「懐山のおくない」は平安末期から続くときとされ、北区引佐町の「川名ひよんどり」「寺野ひよんどり」と合わせて「遠江のひよんどりとおくない」として、国が重要無形民俗文化財に指定している。



昨年の11月25日に清竜中学校で懐山のおくない、神沢おくない、遠州大念仏の総合的な学習で伝統芸能の継承

学校で学んだことを大人になっても伝統を継承してほしい。



獅子の舞と順の舞そして剣の舞を体育館で父兄の前で披露してくれた。

懐山のおくないは黒沢田楽と似ている演目が多い



黒沢田楽も笛は大野から小学生が来て演奏また演目の中では地元出身の大学生がお祭りのときに来て披露する。地域で文化財を残そうと努力をしている。

写真では3つの演目を取り上げましたが所作も同じで駒の舞ではオロオロオロと言うものまで同じです。

黒沢では博労は学校の先生がやっていた。その他の問答も面白い。